



- 紙上講座「5分でわかる経済統計の見方」の第1回目「景気とは？」では、日本銀行が公表する「地域経済報告」をベースに、景気判断のポイント（仕組み等）について解説しました。
- 景気判断には、「地域経済報告」のほか、「景気ウォッチャー調査」、「景気動向指数」などいくつかの判断指標がありますが、こうした判断指標とは別に、景気の善し悪しを判断する基本的な判断材料となるのが、「経済成長率」です。
- 経済成長率は「国などある経済の総体の経済規模が一定期間に変化した率」で、その経済規模の指標としてGDP（国内総生産）が使われます。
- そこで、第2回目は「GDPとは？」をテーマに、GDPとは何か、三面等価の原則とは何か、国内総支出にはどのような項目があるのかについて解説します。

## 1. GDPとは？

### 【ポイント】

- ・GDPは「生産額から原材料や半製品などの中間投入を差し引いた付加価値の合計」

GDPはGross Domestic Productの略で、国内総生産と呼ばれます。

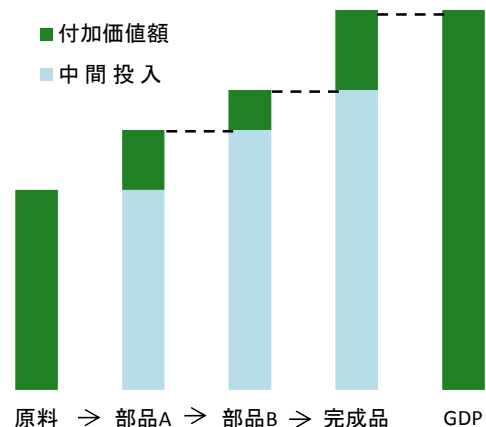
GDPは、国内で生産されたものの金額を合計して求めますが、ここでいう「生産されたもの」とは「生み出された価値」のことであり、この生み出された価値のことを「付加価値」と呼びます。

例えば、部品を仕入れて完成品を売った組み立てメーカーが生み出した付加価値は、中間投入を除いた自分の作ったものになることから、完成品の値段から部品の値段を引いた部分になります（図表1）。

このように生産額から原材料や半製品などの中間投入を差し引いた付加価値を合計したものがGDPになります。

アベノミクスの成長戦略の中に出てくるGNI（国民総所得）は、GDPに海外からの所得の純受取を加えたものです。

図表1 GDPの概念図



## 2. 三面等価の原則とは？

### 【ポイント】

- ・生産、分配、支出の3つの側面から記録されたGDPの金額は一致

農林水産業、鉱工業、サービス業などの生産活動から生み出されたGDPは、雇用者への給与・報酬や企業の利益などに分配され、分配された所得を個人、企業、政府で支出するため、生産、分配、支出の3つの側面から記録されたGDPの金額は一致します（図表2）。

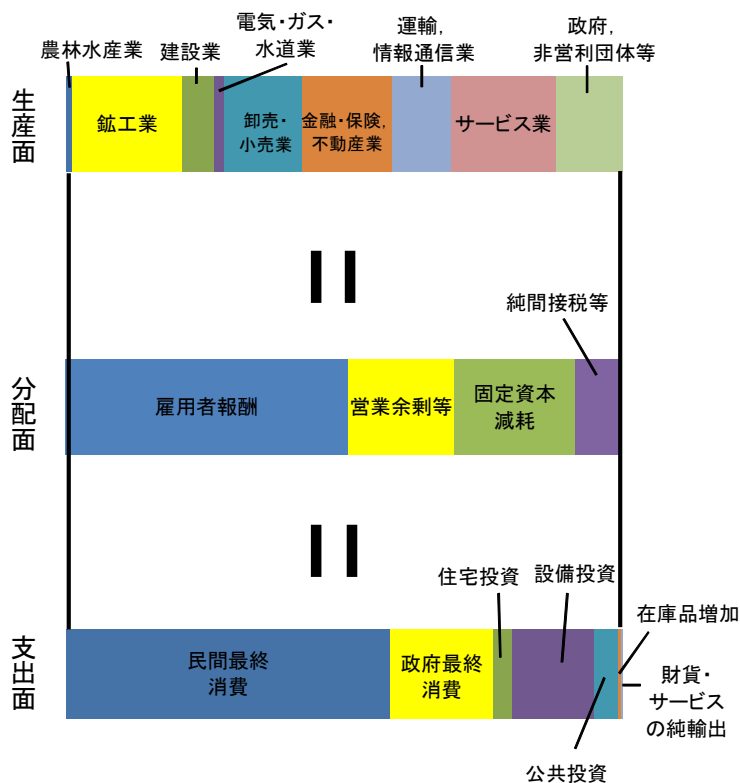
このように、GDPを見る際には3つの視点があり、それらの視点から見た金額が一致すること

を三面等価の原則と呼びます。

三面等価の視点は、経済構造の理解だけでなく、多面的な視点で景気動向を把握するうえでも重要になります。

図表 2 GDP の三面等価

2008年名目GDP (501兆円)



注：1. 純間接税は、間接税-補助金  
2. 純輸出は、財貨サービスの輸出-財貨サービスの輸入  
資料：内閣府「2012年度国民経済計算」より作成

### 3. 国内総支出の内訳

#### 【ポイント】

- ・内閣府の四半期別GDP速報(QE)では、推計資料上の理由から支出面からみたGDP(国内総生産(支出側))を公表
- ・国内総支出は個人消費、住宅投資、設備投資、政府消費、公共投資などで構成

内閣府の四半期別GDP速報(QE)では、推計資料上の理由から支出面からみたGDP(国内総生産(支出側))がGDPとして公表されています。

支出面からみたGDPは国内総支出(GDE)とも呼ばれ、その内訳は個人消費、住宅投資、設備

投資、政府消費、公共投資などで、個人消費が全体の60%近くを占めています(図表3)。

図表 3 国内総支出の内訳

内訳項目	含まれているもの(ここでは名目GDPについて金額の求め方を示します。実質GDPも考え方は同じです)
個人消費 (民間最終消費支出)	消費者としての個人が購入する財(自動車、テレビなどの「モノ」)やサービスの代金です。自動車のように何年も使える耐久消費財であっても、買った年に消費したこととして計算されます。
住宅投資 (民間住宅)	住宅を建てる仕事がGDP(=国内総生産)ですから、中古住宅を買ってもリフォームしないかぎりGDP(=国内総支出)には計上されません。
設備投資 (民間企業設備)	企業が建設する工場やオフィスビル、発電所の建設費などです。土地の購入代金は含まれません。
在庫投資 (民間在庫品増加)	仕入れた材料や商品、作った製品などから出荷を引いて、在庫の増加(減少)額がGDPに計上されます。積極的に増やしたのか売れ残ったのかは問いません。
政府消費	公務員の給料支払いや、事務用品の購入などです。
公共投資 (公的固定資本形成)	道路や橋などの建設費用です。土地の購入代金は含まれません。
政府在庫	コメの在庫の増減などです。
財・サービス輸出 財・サービス輸入	財・サービスの輸出代金の受取り分、輸入代金の支払い分です。海外旅行の飛行機代やホテル代は輸入に、特許権料の受取りは輸出に含まれます。

資料：東洋経済新報社「初心者のための 経済指標の見方・読み方」

経済・産業調査担当 小出 修司

#### 《参考文献》

東洋経済新報社「初心者のための 経済指標の見方・読み方」